



2021年度 就職案内資料 PT・OT・ST

当院紹介



6F 療養病棟

5F 地域包括ケア病棟・療養病棟

4F 急性期病棟・特殊疾患病棟

3F 回復期リハビリテーション病棟

2F 受付・診察室・検査室

1F リハビリテーションセンター

【診療科目】脳神経内科リハビリテーション科

(脳血管Ι・運動器Ι・廃用症候群Ι)

【病床数】

321床



主な疾患

- ▶ 脳血管疾患(脳出血 脳梗塞 くも膜下出血など)
- ▶神経難病(パーキンソン病 筋萎縮性側索硬化症 多系 統萎縮症 脊髄小脳変性症など)
- 神経免疫疾患(重症筋無力症 多発性硬化症 皮膚筋炎 / 多発性筋炎など)
- ▶ HTLV- I 関連脊髄症(HAM)
- ► **認知症**(アルツハイマー型認知症 前頭側頭型<mark>認知症</mark> レビー小体型認知症など)

一般病棟 93床

▶急性期病棟 60床

パーキンソン病急性増悪・服薬調整 脳血管疾患 急性期 ボツリヌス療法 肺炎など

▶特殊疾患病棟 33床

筋萎縮性側索硬化症 進行性核上性麻痺 パーキンソン病 多系統萎縮症 脊髄小脳変性症など

療養病棟 228床

▶回復期リハビリテーション病棟 60床

脳血管疾患 廃用症候群(肺炎・手術後) 大腿骨頚部骨折 ギランバレー症候群など

▶地域包括ケア病棟 42床

脳血管疾患 廃用症候群 パーキンソン病 筋萎縮性側索 硬化症など

▶ 療養病棟 126床 (神経疾患の生活期)

脳血管疾患 パーキンソン病 筋萎縮性側索硬化症 多系統萎縮症 脊髄小脳変性症 アルツハイマー型認知症など

リハビリテーション部:128名

▶ 理学療法科

PT 70名 助手 2名

▶ 作業療法科

OT 36名

▶ 言語聴覚療法室

ST 13名

▶ 臨床心理室

CP 1名

物理療法室

鍼灸マッサージ師 4名 助手 1名

関連施設

- ▶ 介護老人保健施設ひまわり 入所136名
 PT 11名 OT 3名 ST 2名
- デイサービス真砂本町PT 4名
- ▶ 有料老人ホーム ひまわり



PT 1名

▶ グループホーム・小規模多機能ホーム せせらぎ





法人内ローテーションシステム

一般病棟

- ●急性期脳血管疾患リハを 実施
- •重症患者への対応(人工呼吸器管理や呼吸リハ等)が求められる
- •リハ総合実施計画書の 早急な作成

老健・通所リハ

- •介護保険を理解する
- •バスの送迎や福祉用具、 住宅改修に多くかかわる
- •維持期リハの実践

回復期リハ病棟

- ●一患者に集中したリハを 提供する
- ●生活に即したリハを実践する
- ●日曜・祝日勤務の頻度が 多い
- •頻繁なカンファレンス

訪問リハ

- •介護保険を理解する
- •自宅環境に合わせた生活 リハ

療養病棟

- •維持期リハを実施し、 その効果判定を適切に 行う
- ●患者の療養生活の質を 高める工夫が必要
- •リハ継続の必要性を検 証する

病院・通所リハ(短時間)

- •介護保険を理解する
- ◆在宅生活の継続を見据 えた維持期リハの実践
- ●自宅~当院までの距離 に応じて送迎を実施
- ※様々な領域でのリハを体験することが目的
- ※可能な範囲で希望を取り入れている

リハビリテーションセンター

物療室



ST室

リハビリテーションセンター



リハビリテーション機器

リハビリテーションセンター



ADL・IADL関連





台所



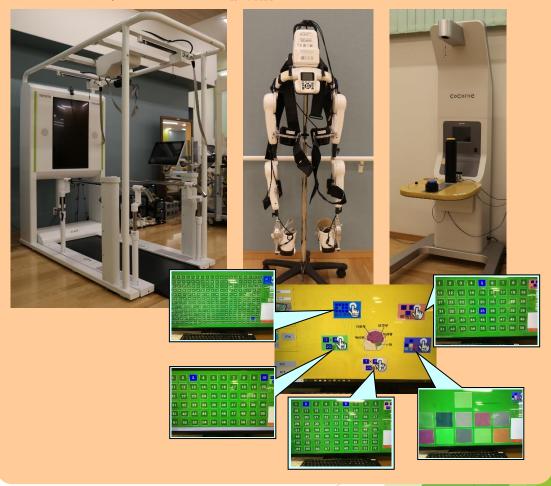


当院のリハビリテーション









LSVT BIG/LOUD パーキンソン病に特化した運動療法

リハビリテーション機器【PT関連】









ウェルウォークWW-2000

▶リハ支援ロボット

長下肢装具レベルの者でも早期から正常歩行に近い歩<mark>容で</mark> 長距離の練習が可能







HAL (Hybrid Assistive Limb)

▶ 生体電位信号をセンサーで検出し、必要な分だけ増幅





ウォークエイド(歩行神経筋電気刺激装置)

▶ 脳卒中治療ガイドライン2015 推奨グレードB





Honda歩行アシスト





リハビリテーション機器【OT関連】



趣味活動











OT農園



言語聴覚士

- ▶ ことばによるコミュニケーション能力に問題がある方や、嚥下障害のある方に、専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援を行っています
- リハビリテーション室に10室の言語室があり、 落ち着いた環境でリハビリを行うことができます





まとめ

▶ 主な対象は、脳血管疾患、パーキンソン病

▶ 最先端のリハビリ機器を積極的に活用した身体機能、

高次脳機能へのアプローチ

▶ 活動・参加に焦点を当てた作業療法の展開

▶ 地域包括ケアを支えるリハビリの実践